

報告事項イ

国史跡青谷上寺地遺跡の追加指定及び活用について

国史跡青谷上寺地遺跡の追加指定及び活用について、別紙のとおり報告します。

平成25年6月28日

鳥取県教育委員会教育長 横 濱 純 一

国史跡青谷上寺地遺跡の追加指定及び活用について

平成25年6月28日
文化財課

1 史跡追加指定について

国の文化審議会（会長 宮田亮平）は6月21日に文部科学大臣に対して、鳥取市青谷町・青谷上寺地遺跡の一部を追加指定することを答申しました。

今回の追加指定地は、遺跡の中心城南側縁辺であり、当初から指定対象地でしたが、このたびは所有者の同意が得られたことにより、下記のとおり追加指定されるものです。

・指定対象の所在地

追加指定地：鳥取県鳥取市青谷町青谷字上寺地4216番4外 1筆

追加指定面積：370.24㎡

・これまでの指定履歴

当初指定：平成20年3月28日（139,875.13㎡）

追加指定：平成22年8月5日（3,217.88㎡）

平成23年9月21日（2,090.00㎡）

合計 145,553.25㎡

2 「田んぼアート」・古代米田植え体験、スーパーボランティア事業（学生人材バンク）

・開催日時：平成25年6月9日（日）午前10時～午後3時30分

・場所：青谷上寺地遺跡史跡地内の体験水田（約2,500㎡）

・参加費：無料

・参加者○古代米田植え体験 「2匹の動物（シカか）」

午前 青谷小学校5年生PTA+教諭、かみじち21、ほか

午後 幼児から大人まで（幼児・児童は保護者同伴）

○スーパーボランティア事業 「「絆」をテーマとしたデザイン」

鳥取大学生、鳥取環境大学生

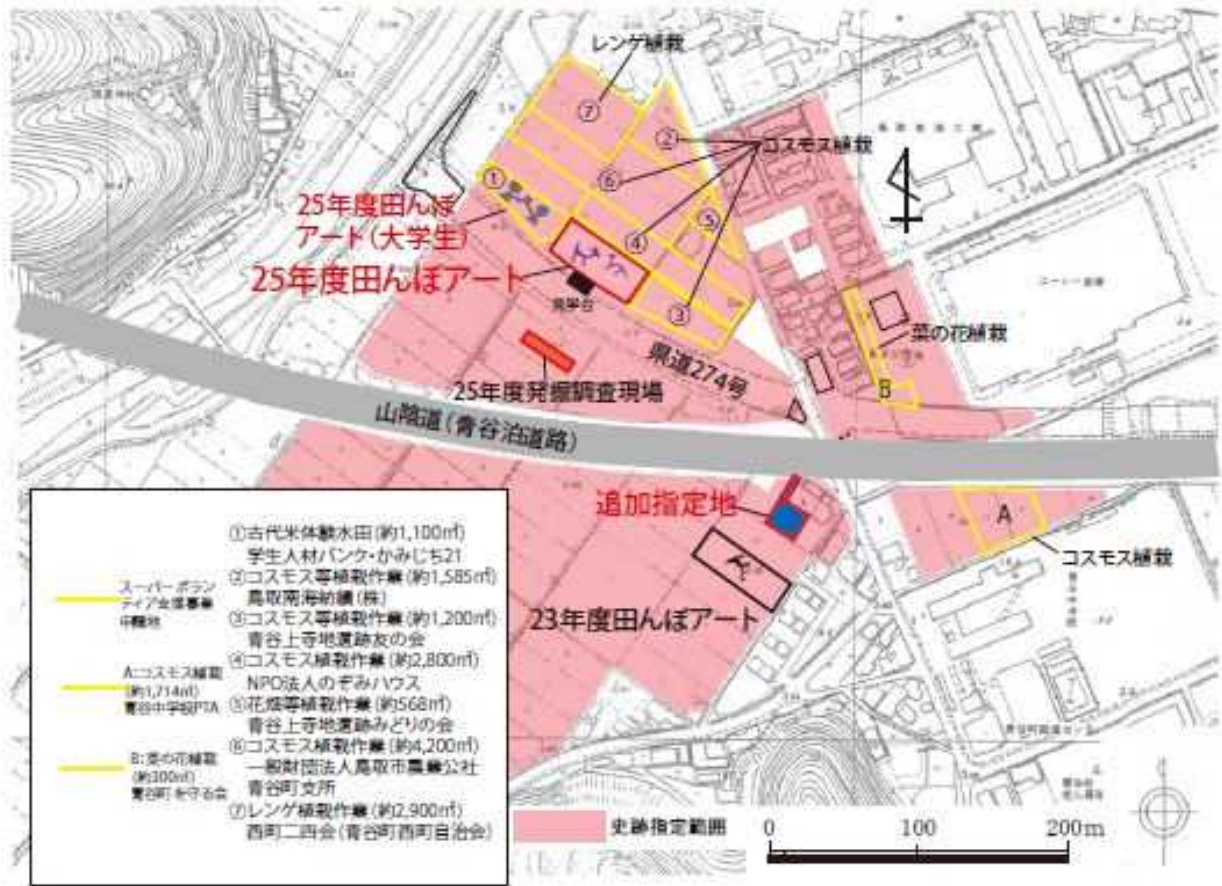
・今後の予定：10月頃に稲刈りを予定。体験水田前には、見学台を設置し、秋には絵柄をご覧いただけます。また、史跡指定地内にコスモスや菜の花を植栽し、花々の彩りをお楽しみいただけます。

・主催：青谷上寺地遺跡史跡保存活用協議会
※史跡の保存活用を図るため、鳥取県・鳥取市・民間団体が協働連携する協議会

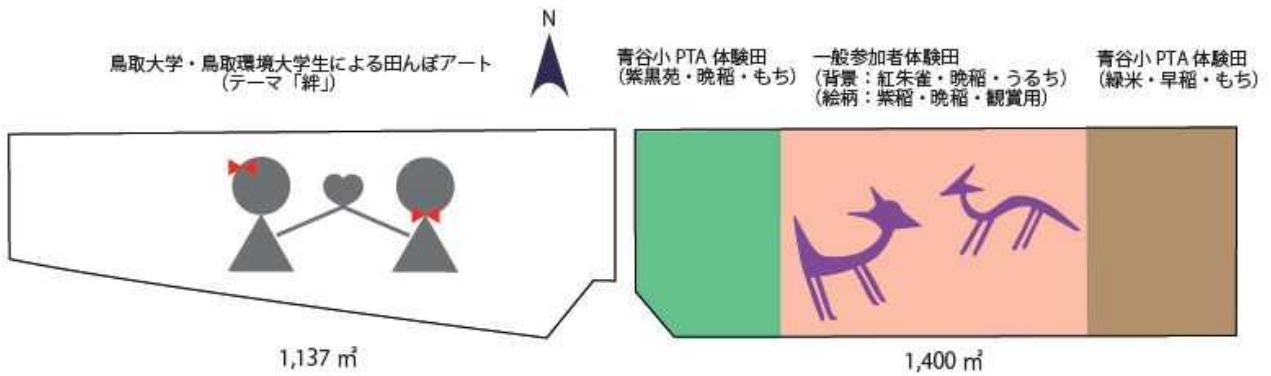


田植え体験の様子

青谷上寺地遺跡追加指定地、「田んぼアート」等の位置図



平成 25 年度青谷上寺地遺跡田んぼアート絵柄



平成 24 年度の田んぼアート (サメ)



田んぼアートのデザインと出土した琴板に描かれた絵